

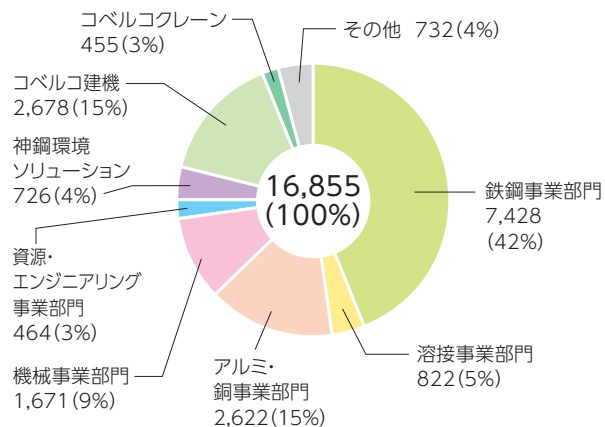
■当期の概況

当期の我が国経済は、前半は、震災からの復興に伴う需要の増加などを背景に、緩やかながら回復基調をたどりましたが、後半は、円高の是正はあったものの、エコカー補助金の終了などもあり、総じて景気は低調に推移しました。海外では、米国においては緩やかながら景気回復基調が維持されたものの、欧州における金融不安、中国での景気拡大鈍化が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材やアルミ・銅圧延品の販売数量は、第2四半期まで堅調に推移した国内自動車向けの需要が第3四半期以降に減速したことに加え、鋼材については海外市況の低迷や円高の影響などにより輸出環境が悪化したこと、アルミ・銅圧延品については主にIT関連分野の需要低迷が継続したことから、前期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、震災からの復興に伴い需要が堅調であった国内や、東南アジアにおいては増加したものの、中国では大きく減少し、全体としては、前期を下回りました。

この結果、鋼材販売数量の減少や販売価格の低下、油圧ショベルの販売台数の減少が大きく影響し、当期の売上高は、前期に比べ1,791億円減収の1兆6,855億円となりました。また、これらの影響に加え、鋼材やアルミ・銅圧延品において在庫評価損が拡大したこと、営業利益は、前期に比べ493億円減益の112億円、経常損益は、前期に比べ519億円減益の181億円の損失となりました。また、当期純損失は、繰延税金資産の計上額の増加などがあったものの、前期に比べ127億円減益の269億円となりました。

事業別売上高(平成24年度) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額745億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額1兆6,855億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

7,428 億円

(前年同期比 △13.0%)



- 鋼材販売数量：造船向け需要低迷、海外市況低下、円高影響により前期比減
- 鋼材販売価格：アジア地域の鋼材需給緩和継続、主原料価格下落により前期比下落
- 鍛鍛鋼品売上高：造船向け需要低迷、価格下落により前期比減
- チタン製品売上高：海外需要減少により前期比減
- 経常損益：前期比355億円悪化の502億円の損失



自動車用弁ばね用鋼



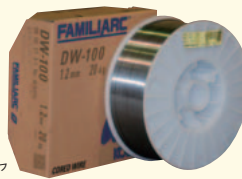
溶接事業部門

822 億円

(前年同期比 △2.6%)



- 溶接材料販売数量：東南アジア、米国での需要は堅調に推移も、国内の造船向け需要の減少により前期比減
- 溶接システム売上高：国内や中国建機向けの需要減少により前期比減
- 経常利益：前期比9億円減の21億円



フラックス入りワイヤ



アルミ・銅事業部門

2,622 億円

(前年同期比 △9.6%)



- アルミ圧延品販売数量：自動車向け需要が下半期減速、液晶・半導体製造装置関連の需要低迷継続により前期比減
- アルミ鑄造品売上高：液晶・半導体製造装置関連の需要低迷継続により前期比減
- 銅圧延品販売数量：銅管は回復も、板条は半導体向け需要低迷により前期比減
- 経常利益：前期比21億円減の39億円



アルジェイドII
用途:半導体・液晶製造装置や太陽電池/パネル製造装置向け



機械事業部門

1,671 億円
(前年同期比 +9.4%)



- 受注高：円高を背景に海外メーカーとの競争激化など受注環境悪化により前期比24.5%減の1,095億円
- 当期末受注残高：1,166億円
- 経常利益：樹脂機械など大型案件の計上により前期比21億円増益の120億円



二軸混練押出機 HYPERKTX



資源・エンジニアリング 事業部門

464 億円
(前年同期比 △16.8%)



- 受注高：原子力関連分野における汚染物質処理案件の需要増により前期比14.7%増の335億円
- 当期末受注残高：637億円
- 経常損益：前期比16億円減益の13億円の損失



鋼製砂ろえん堤



神鋼環境ソリューション

726 億円
(前年同期比 +2.1%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業で大型案件を受注も、水処理関連事業等の受注減により、前期比6.7%減の735億円
- 当期末受注残高：435億円
- 経常利益：案件構成の変化等により前期比3億円減の39億円



小型高純度水素
酸素発生装置
(H₂ BOX)



コベルコ建機

2,678 億円
(前年同期比 △12.8%)



- 油圧ショベル販売台数：前期比減少
〔国内〕震災復興需要により需要堅調
〔海外〕東南アジア増加も、中国景気拡大鈍化影響で大きく減少
- 経常利益：前期比160億円減の68億円



20トン級ハイブリット
油圧ショベル
〔SK200HJ〕



コベルコクレーン

455 億円
(前年同期比 △5.2%)



- 販売台数：前期比増
〔国内〕震災復興需要により増
〔海外〕北米、東南アジアを中心に海外需要が回復基調に転換
- 売上高：販売機種構成変化影響により減少
- 経常損益：販売機種構成変化影響により前期比24億円減の22億円の損失



Mastertech-Gシリーズ
「省エネシステム
「Gモード」搭載
クローラクレーン」



その他

732 億円
(前年同期比 +5.9%)



- コベルコ科研：
〔液晶配線膜用ターゲット材〕需要回復基調
〔試験研究事業〕エレクトロニクス業界向け需要低迷
- 神鋼不動産：
〔分譲事業〕引渡戸数が増加
〔賃貸事業〕堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前期比3億円増の75億円



ジークレフ宝塚武庫山

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。